

例えば、BRICs諸国のパフォーマンスから ～複数国への分散投資が有効か

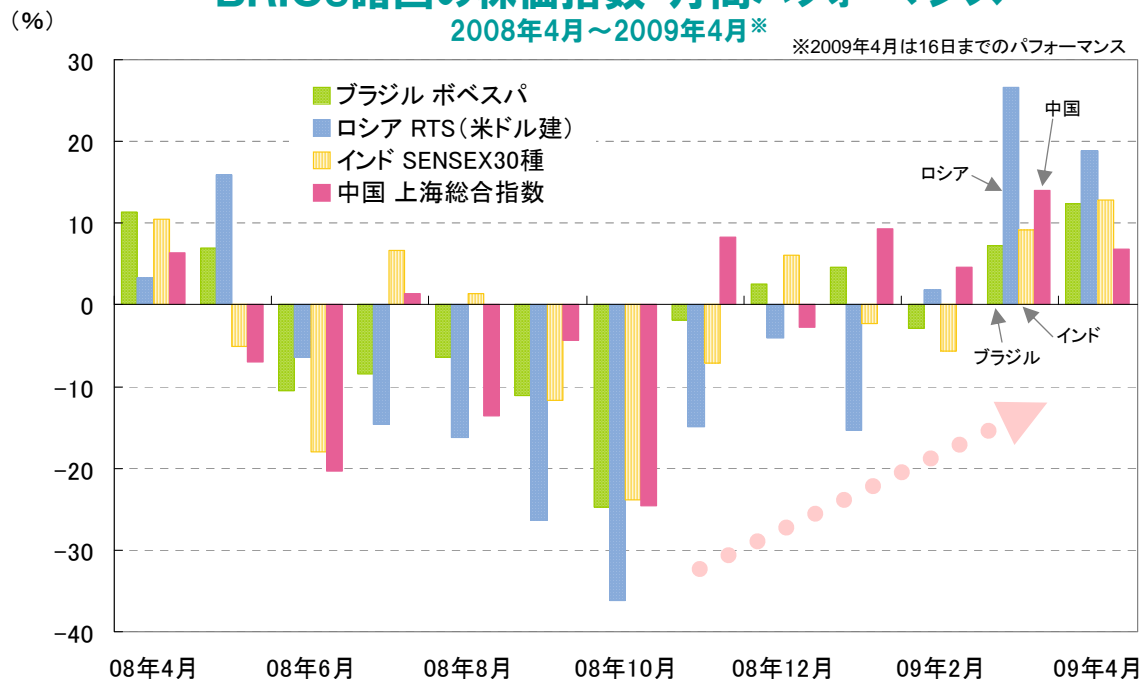
3月中旬以降、世界的に株式市場が回復傾向にあります。主要国の経済指標の一部に明るい兆しが見え始めていることに加え、各国による金融安定化策や景気刺激策への効果が期待されており、金融市場への過度な不安が後退していることが背景にあると思われます。

先進国に比べ新興国の株式市場の回復は相対的に高く、昨年末を大きく上回る水準まで上昇している国が目立ちます。新興国の大国として注目されているBRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)諸国の株式市場も力強さを増しつつあり、なかでも、高成長が持続するとの期待から中国の株式市場の回復が顕著となっており、代表的な株価指数は軒並み、信用危機が深刻化する昨年9月以前の水準に回復しました。また、資源価格に底入れ期待が出始めたことで、原油や天然ガスの世界的有力企業を抱えるブラジル、ロシアの株式市場も足元で年初来高値を更新しています。

このまま堅調に上昇を続けるためには、実体経済の改善が必要だと考えられますが、金融市場の落ち着きとともに、BRICs諸国などのファンダメンタルズの強さ(豊富な資源や資金、労働人口の増加、相対的に高い経済の成長性など)が株式市場で改めて見直される可能性があることは、BRICs諸国などへの投資を検討し始める契機となるのではないのでしょうか。

実際の投資にあたっては、例えば下図に見るように、それぞれの株式市場の上昇度合いは様々であることから、単一国への投資もさることながら、複数国への分散投資も検討の余地があるのかもしれない。

BRICs諸国の株価指数・月間パフォーマンス



※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。